

平成29年度事務事業評価シート(28年度実績)

◎基本情報

事務事業名	公共下水道維持管理事業(雨水)		担当部署	経済建設部 下水道課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	都市計画法・下水道法・鳴門市 下水道条例	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業 期間	開始	昭和 <input type="text" value=""/> 43 年度
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なんと		終期	<input type="text" value="未定"/>
(小項目)		危機管理・防災			
施策	1	災害に負けないまちづくりの推進			
基本事業	3	防災施設・資機材等の整備			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 撫養町斎田・南浜・小桑島・大桑島の撫養排水区および撫養ポンプ場						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	台風・大雨時における市街地の浸水被害を未然に防止し、市民生活の機能維持と安全確保を図る。						
事業計画	28年度に何を計画していたか	災害の未然防止や、施設の円滑な維持管理を図るため、ポンプ施設、管きよ等において優先度の高い施設から耐震化、長寿命化を進める。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
		管きよ等の耐震化長寿命化割合	40	50	60	65	65	%

◎実施結果(DO)

事業実施内容	28年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	国庫補助金(防災・安全社会資本整備交付金)を活用して、撫養ポンプ場の施設の長寿命化、及び老朽管きよの長寿命化工事を実施した。					
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		27年度実績	28年度実績	29年度目標	30年度目標	31年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1						
	2						
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	管きよ等の耐震化長寿命化割合	43	44	—	—	—	%
	目標達成率(実績/目標)		88.0	—	—	—	%
今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成28年度	当初予算額	50,000	0	50,000	0	332	100,332
		補正予算額	△ 2,000	0	△ 2,000	0	0	△ 4,000
		繰越予算額	34,149	0	34,100	0	52	68,301
		全体予算額	82,149	0	82,100	0	384	164,633
		決算額	53,310	0	53,600	0	11	106,921
		繰越額	28,840	0	28,800	0	40	57,680
	人件費	正規職員(7,133千円/人)	臨時職員(2,043千円/人)	総人件費		総事業費		
		1.0	0.0	7,133		114,054		

事業費推移	年度	27年度決算	28年度決算	29年度	30年度	31年度
	事業費	81,313	106,921	158,011	100,331	100,331
	うち一般財源	0	11	371	331	331
	人件費	6,859	7,133	7,133	7,133	7,133
	総事業費	88,172	114,054	165,144	107,464	107,464

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった		施設の耐震化・長寿命化が図れるため、災害の未然防止や円滑な維持管理が図れる。
	効率性	B:概ね効率的だった		適正な維持管理を図るため、優先度の高い施設から長寿命化を進める。
②成果に対する評価	指標名	管きよ等の耐震化長寿命化割合		管きよの耐震化・長寿命化は一部繰越となったが、ポンプ場の長寿命化工事は進捗した。
	目標	50	%	
	実績	44	%	
	評価	B:概ね目標を達成できた		
③総合的な評価		B		管きよの耐震化・長寿命化は一部繰越となったが、ポンプ場の長寿命化工事は進捗したためB評価とした。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	<p>現在、施設の長寿命化に着手しているのは撫養排水区のみである。今後は他の排水区である撫養西部排水区、高島排水区も同様に老朽化が進行していることから、調査および検討を行う必要がある。</p> <p>排水区によっては、管きよ等の建設が未整備の区域もあり、加えてポンプ施設についても一部供用であり、計画排水量を満足していないため、十分な検討が必要である。</p>				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H29年度	災害の未然防止や、施設の円滑な維持管理を図るため、ポンプ施設、管きよ等において優先度の高い施設から耐震化、長寿命化を進める。			
	H30年度	災害の未然防止や、施設の円滑な維持管理を図るため、ポンプ施設、管きよ等において優先度の高い施設から耐震化、長寿命化を進める。			